



転送不要

SAMPLE

SAMPLE



2年に1回 乳がん検診

市福祉保健部 健康推進課

マンモグラフィはこんな検査です。

SAMPLE

マンモグラフィは、 いわゆるおっぱいの レントゲン

プラスチックの板と撮影台に
乳房を挟んで上からレントゲン
を撮ります。



5秒くらい、じっとして…
撮影終了!

1cm以下のがんも見つけられる 優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが
確認されている検査法で、早期の乳がんの検出に有用です。

検診で「異常あり」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。^{※1}

精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、
細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

※1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合
もあります。

このはがきは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

乳がん検診の流れ

SAMPLE

Step 1. 実施医療機関に直接予約

以下リストをご覧ください。

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、
ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

Step 2. 受診

医療機関で、保険証を提示。

受診費用を支払い受診。

問診 自覚症状等についてお聞きします

マンモグラフィ 乳房のレントゲンを撮ります

SAMPLE

検査結果は後日郵送にてお知らせします^{※2}。

実施医療機関一覧

〇〇町	〇〇〇〇医院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇健診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000

※2 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、
市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受け
た場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精
度向上のため)

SAMPLE

OPEN

今年度は、〇〇市より 0,000円の助成があります！

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、一万円を超える高価な検査ですが、市の検診を受けると約0,000円の助成がでます。(自己負担金0,000円)

検査費用	約〇〇〇〇円
一助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	0円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期間は、令和00年00月00日まで

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

〇〇市 福祉保健部 健康推進課
〒000-0000 〇〇市〇〇町0-00-0健康会館内
電話 | 000-000-0000 FAX | 000-000-0000

近年、日本人女性の9人に1人が 乳がんにかかると言われています。*

乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

誰がなっても
おかしくない
ですよ



乳がんは40～60代女性の
がん死亡原因ナンバーワン**

日本では、年間1万4千人以上
の女性が乳がんで亡くなって
います。

セルフチェック
だと遅いかも...



ご自身では見つからない
ケースがたくさんある

早期発見のためにはマンモ
グラフィによる検査を定期的
に受けることが大切です。

※1 出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)2020年全国集計値

※2 出典:人口動態統計(2023年)

早期のがん^{※3}の段階で治療すれば、 95%以上が治ります。^{※4}

正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェック
していくことが大切です。

生存率

I期(早期がん)

99.0%

IV期(進行がん)

40.5%

乳がん検診は2年に1度
必ず受診してください

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見
できます。ただし、中には急激に大きくなる
ものもあるため、乳房の状態を日ごろから
意識し、変化がないかを確認するようにしま
しょう。しこり、乳房のひきつれ、乳頭から
血性の液がでる、乳頭の湿疹やただれなど
の症状がある場合は、次の検診を待たずに
医療機関を受診してください。



※3 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類(TNM分類)にお
けるI期を意味します。(IV期に近いほどがんが進行している状態です)

※4 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。

出典:2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)